

# 掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/kejiban.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/kejiban.html) をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

## (公財)日本板硝子材料工学助成会 令和6年度研究助成募集

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会では令和6年度研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成対象：無機材料およびこれに関連する科学・技術研究。助成額：総額4,000万円程度(40件程度、1件120万円以下)。募集期間：令和5年8月1日(火)～11月18日(土) [必着]。電話(03)6757-1203 E-mail: kenjiro.hamanaka@nsg-zaidan.or.jp <http://nsg-zaidan.or.jp> 事務局長 浜中賢二郎

## 令和5年度 SCAT 研究助成の公募

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センターは、次の研究助成を行っております。詳細は下記HPをご参照下さい。[研究費助成] 先端的な情報通信技術分野の研究の円滑な推進を支援すること目的とし、研究に関わる経費の助成を行います。応募資格：先端的な情報通信技術分野の研究を行っている研究者、研究グループ。助成額：総額250万円以下/件。助成期間：2年または3年。募集期間：8月1日(火)～10月31日(火)。[研究奨励金] 次世代を担う研究者の育成を目的として、研究奨励金の支給を行います。応募資格：先

端的な情報通信技術分野の研究を専攻する、大学院博士後期課程への進学予定者で、研究科長が推薦する学生。助成額：月額10万円/人。助成期間：大学院博士後期課程在学中の3年を越えない期間。募集期間：8月1日(火)～11月30日(木)。(国際会議助成) 国際研究交流の促進を目的として、国際会議開催費の助成を行います。応募資格：先端的な情報通信技術分野の国際会議を主催する学会、研究グループなどの責任者。助成額：25万円以下/件。募集期間：8月1日(火)～10月31日(火)。(一財)テレコム先端技術研究支援センター(通称SCAT) 電話(03)3351-8148 E-mail: scatjosei@scat.or.jp <https://www.scat.or.jp/josei/>

## 触媒科学計測共同研究拠点 共同利用・共同研究公募のお知らせ

触媒科学計測共同研究拠点は北海道大学触媒科学研究所、大阪公立大学人工光合成研究センター、産業技術総合研究所触媒化学融合研究センターからなる、ネットワーク型共同研究拠点です。触媒や人工光合成などの中核領域における共同研究に加え、異分野間の融合・連携を一層促進するために、固体触媒、分子触媒、生物触媒分野間の共同研究をはじめとする多様性のある学際共同研究を推進します。本拠点では現在、共同

利用・共同研究提案型第二期を公募しております。応募締切：2023年9月25日(月)。詳細はHP (<https://sites.google.com/view/jurcc/ホーム>) をご参照下さい。

## 第30回うま味研究助成

うま味研究会では第30回うま味研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。趣旨：基本味である“うま味”の科学研究に対する助成。特に若手研究者の支援。研究分野：1. うま味に関する基礎研究：うま味の感知や受容機構の解明等を対象とした研究(生理学、分子生物学、神経科学など)。2. うま味に関する応用研究1(生体機能)：うま味物質の摂取が生体にもたらす効果や機能等を対象とした研究(栄養学、食品機能学など)。3. うま味に関する応用研究2(食品科学)：うま味物質の食品中での挙動あるいは役割等を対象とした研究(食品科学、食品工学など)。研究期間・件数・助成額：2024年1月1日(月)～2年間・計5件、総額100万円程度/件。応募方法：うま味研究会HP (<https://www.srut.org/subsidize/saboutline/>) をご覧下さい。締切：2023年10月31日(火)必着。お問合せ先：うま味研究会事務局 (E-mail: [umami@srut.org](mailto:umami@srut.org) <https://www.srut.org/>)

## “掲示板”欄への掲載申込について

### ①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限りまします。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 同一原稿の掲載は1回に限りまします。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

### ②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

### ③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

### ④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

#### ②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。  
【使用できない文字例】  
・半角カナ；ｱｶｶ, 記号(約物)；., [(./ 等  
・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④
- C) テキスト上で表現できない文字(外字、作字)については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定(上付き、下付き、イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】  
上付き； $P^{2+} \rightarrow P <SUP> 2 </SUP>$   
下付き； $CO_2 \rightarrow CO <SUB> 2 </SUB>$   
イタリック；*italic* →  $<I> italic </I>$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

- ④ 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。

- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

### ⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 原稿締切日(当月25日)まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

### ⑥問合せ

#### 【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局  
E-mail: [kakoshi@chemistry.or.jp](mailto:kakoshi@chemistry.or.jp)

#### 【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部  
電話(03)6807-8212 E-mail: [kakou-shi@sanbi.co.jp](mailto:kakou-shi@sanbi.co.jp)